

活動指導案

実践団体名 高塚台二丁目自治会

■基礎データ

① タイトル

家庭内消火器の有効活用とメンテナンス

② 活動の概要

防災訓練を機会に有効期限切れの消火器を供出してもらい実技体験に使用する。

③ 目標・ねらい

①供出時に有効期限の確認 ②メンテナンス(最充填、部分補修等)により初期の機能を確保 ③適正保管場所の設置に気づく。

④ 活動で上げることが
できる力・能力

消火器の操作方法を学ぶ(実消火器による模擬火災の消火)

⑤ 対象者(受ける側)

地域住民

⑥ 活動・作業形態

地域家庭より有効期限切れ消火器を供出してもらい、その消火器を使用し消火訓練を行う。使用済消火器はメンテナンスを行い再使用する。

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

有効期限切れの消火器

⑧ 所要時間

訓練全体3時間(当該訓練30分)

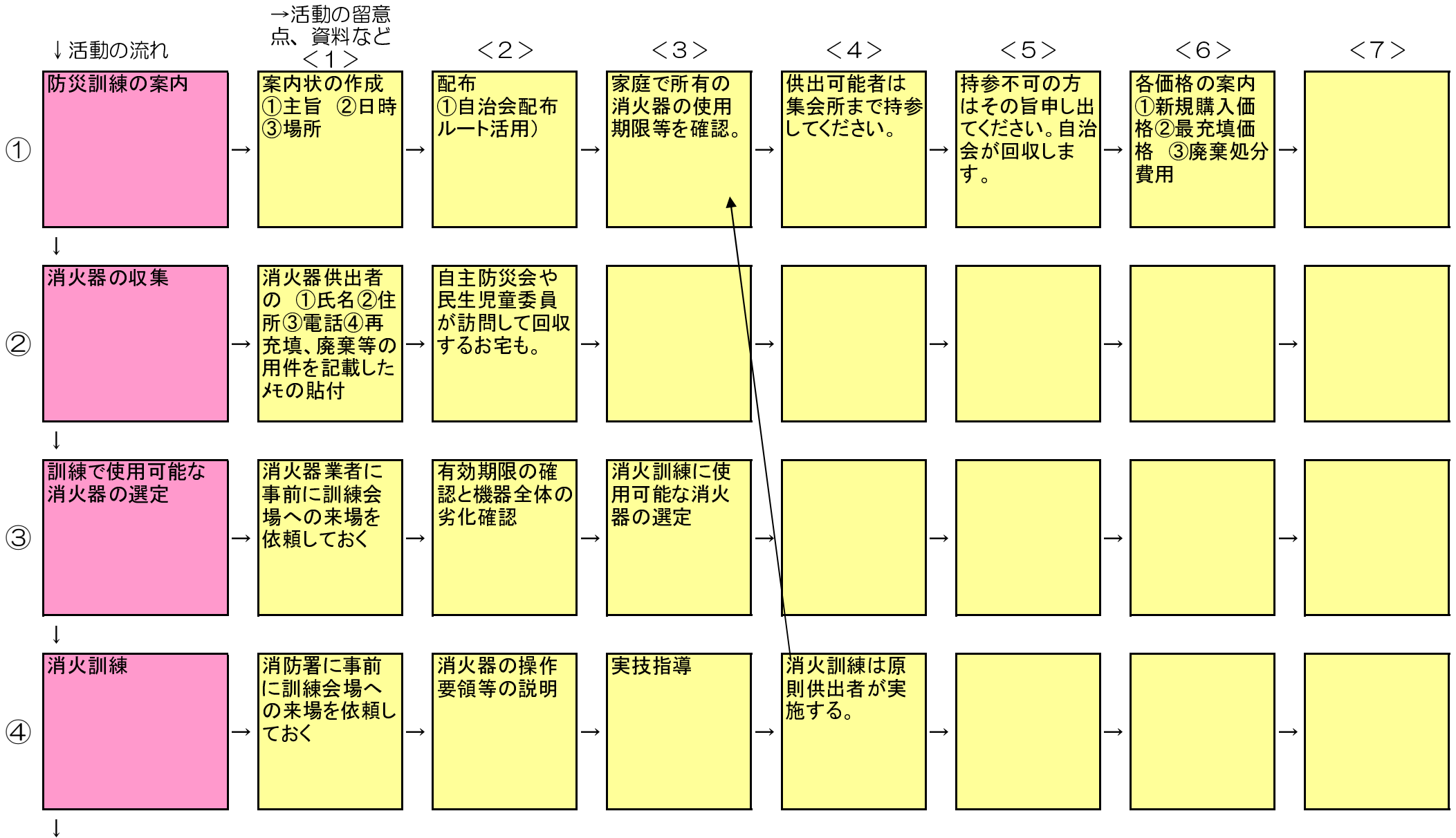
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

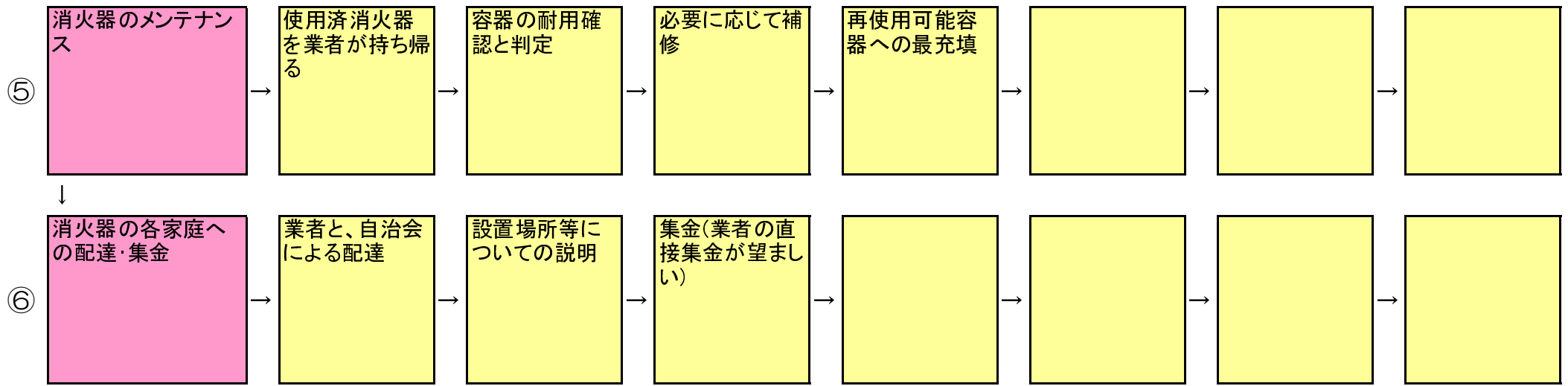
10名【①案内・収集(自治会)②有効期限の確認③メンテナンス(最充填、補修・・・業者)④配達・集金(業者)】

⑩ 必要経費
(所要額、財源)

消火剤の最充填、補修及び廃棄処分費用は各自負担

■活動の流れ





■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

平成21年・・・5台を訓練に使用し最充填。平成22年・・・16台を訓練に使用し15台を最充填、1台廃棄処分

②その他の評価

実消火器による模擬火炎の消火で実践しながらで取り組む。又、子供向けには水消火器による的当てで、ゲーム感覚で消火器の操作方法が学べる。

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

高齢の供出者には自治会で収集に出向くのが望ましい

②参考資料等

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 高塚台2丁目自治会

■基礎データ

① タイトル

通学合宿

② 活動の概要

地域ボランティアとともに合宿しながら、通学したり日常生活を行う。

③ 目標・ねらい

通学という日常を家族と離れて生活しながら行うことで、人のつながり、大変さ、家族の大切さ・ありがたさなどを知り、子どもたち自身の生活スキルをアップする。

④ 活動で上げることが
できる力・能力

家庭や学校ではない集団での生活のノウハウを得ることができる。
協力しあうことの大切さを知る。
両親、家族に対する感謝の気持ち、自分たちを支えてくれる周囲のすることを知る。

⑤ 対象者（受ける側）

地域の小学生（4～6年生） 20～30名

⑥ 活動・作業形態

地域ボランティアが先導する形で起床から通学、就寝までの24時間を家族と離れて集団生活する。

⑦ 準備するもの
（道具、材料等）

子ども本人準備物：学校で必要なもの、タオル、バスタオル、洗面用具、パジャマ、ハンカチ、ビニール袋（汚れ物入れ）、着替え（日数分）、ティッシュ、エプロン、三角巾、マスク、常備薬、保険証の写し、健康ノート
主催者側準備物：布団、洗面・炊事場の増設、食材、調理道具（鍋など一式）、なんと言っても場所！（集会所や公民館）

⑧ 所要時間

3～5日

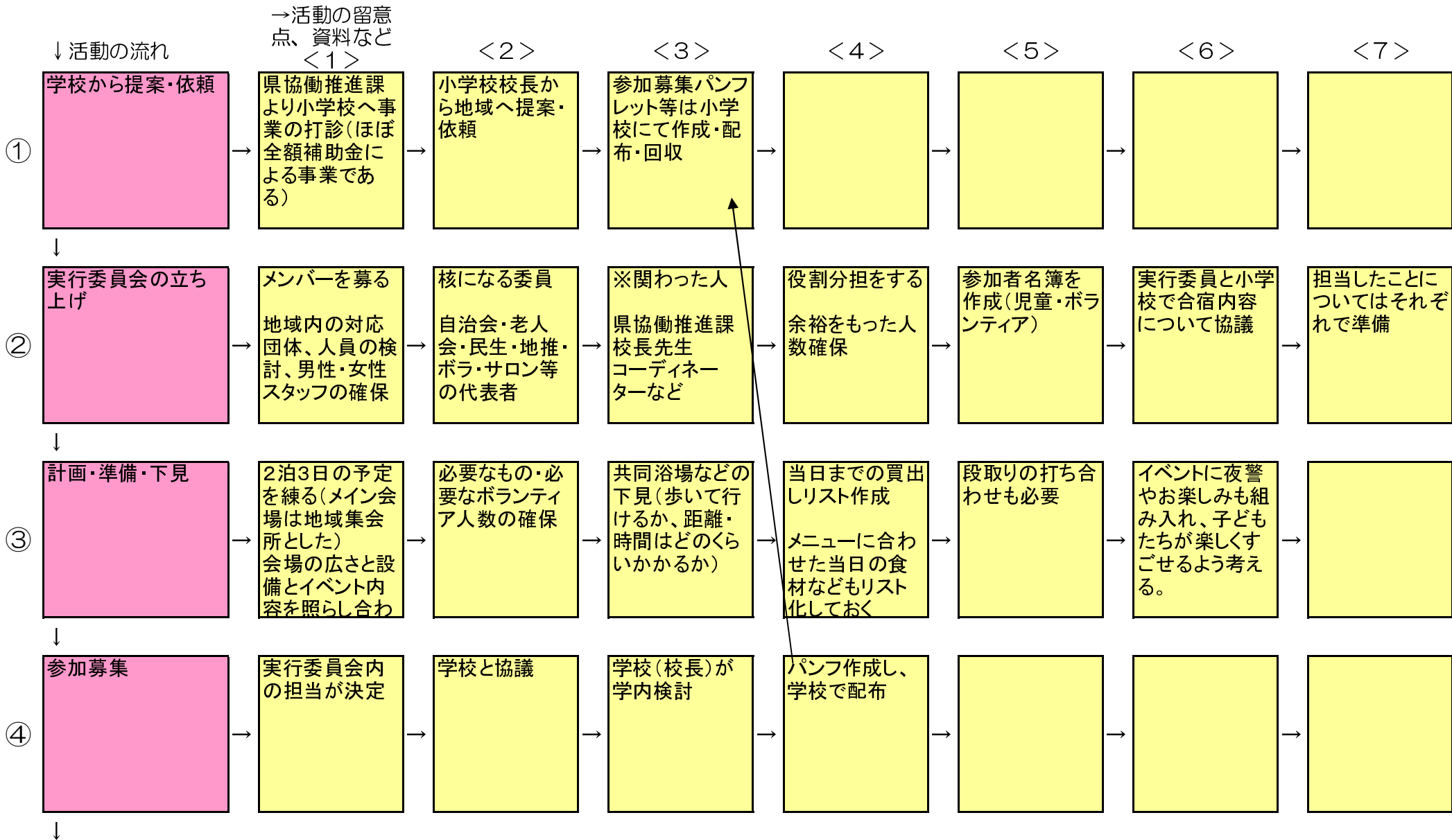
⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数）

実行委員：委員長、副委員長、コーディネーター、庶務会計、記録担当（各1名）、食事担当（10名）、生活指導（6名）、物品管理（5名）、安全担当（5名）、宿泊担当（6名） 合計30～35名

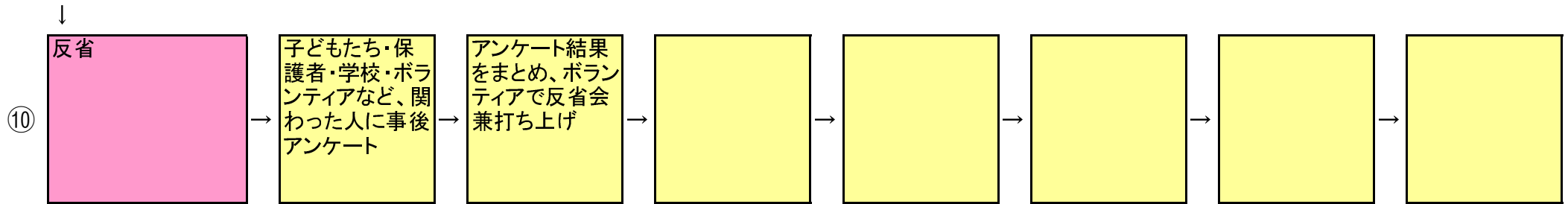
⑩ 必要経費
（所要額、財源）

食費5万、設備3万、消耗品5万、その他3万
財源：参加児童負担一人2,000円、県補助金 他

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

②その他の評価

子どもたちのアンケート回答によると、家族への感謝やおじいちゃん・おばあちゃん世代との交流、笑顔で迎えられられることの感動などが心に残った様子。保護者からは集会所を利用しての宿泊に抵抗があったとの意見も出ていたが、概ね子どもが大きく成長したことや親が子どもを大切な存在として再認識したなどの意見もあり。普段の見守りでも子どもたちの挨拶などの反応が良くなった。

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

今回の事業では学校からの依頼を1人で受け、地域に持ち帰らずに独断で実行決定し、決行を持ち帰ったため、あちこちで無理があった。夏休み前に開催したい旨の打診があったため、無理を承知で以来を受けたが、本来は依頼を受けてから仲間内で話し合いの時間を設け、決定すべきだったというのが反省点。また、補助金があったので、計画から清算まできっちりとした管理と運営、清算などの業務が大変なので、留意。
高齢者に近いボランティアばかりだったので、若い世代の手伝いもあった方が良い。また、保護者アンケートには次回があるなら手伝いたいとの意見もあり、広くボランティアを募るのも良い(当方では時間がなかったため、連絡のとれる仲間だけで対応した)

②参考資料等

住民の好意で撮影・編集されたビデオあり(保護者説明会～実行終了まで)。

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 高塚台2丁目自治会

■基礎データ

① タイトル

児童下校時の不審者対応

② 活動の概要

下校時に挙動不審者が現れた場合を想定し、「110番の家」家人や警察も参加し、公園で不審者に声をかけられたら「こども110番の家」に駆け込み助けを求めれば、家人から警察に連絡してもらえ、保護してもらえることを子どもたちが知る。

③ 目標・ねらい

子どもたちが不審者への対処方法を知る。
子どもたちが「子ども110番の家」が何であるかを知る。
地域住民の見守り意識の向上。

④ 活動で上げることが
できる力・能力

狙われかけたときに大きな声が出せるようになる。
「子ども110番の家」へ駆け込むことの習慣化。

⑤ 対象者（受ける側）

校区内の小学生

⑥ 活動・作業形態

「子ども110番の家」の旗を掲げている地域住民とその家。
警察協力による犯人役づくり。
警察署生活安全課からのパトカーの出動。

⑦ 準備するもの
（道具、材料等）

子ども役の子ども2名（できれば高学年1名・低学年1名（実の姉・弟で実施した）、子ども110番の家（インターホンがある方がよい）、子ども110番の家家人

⑧ 所要時間

訓練所要時間30分程度

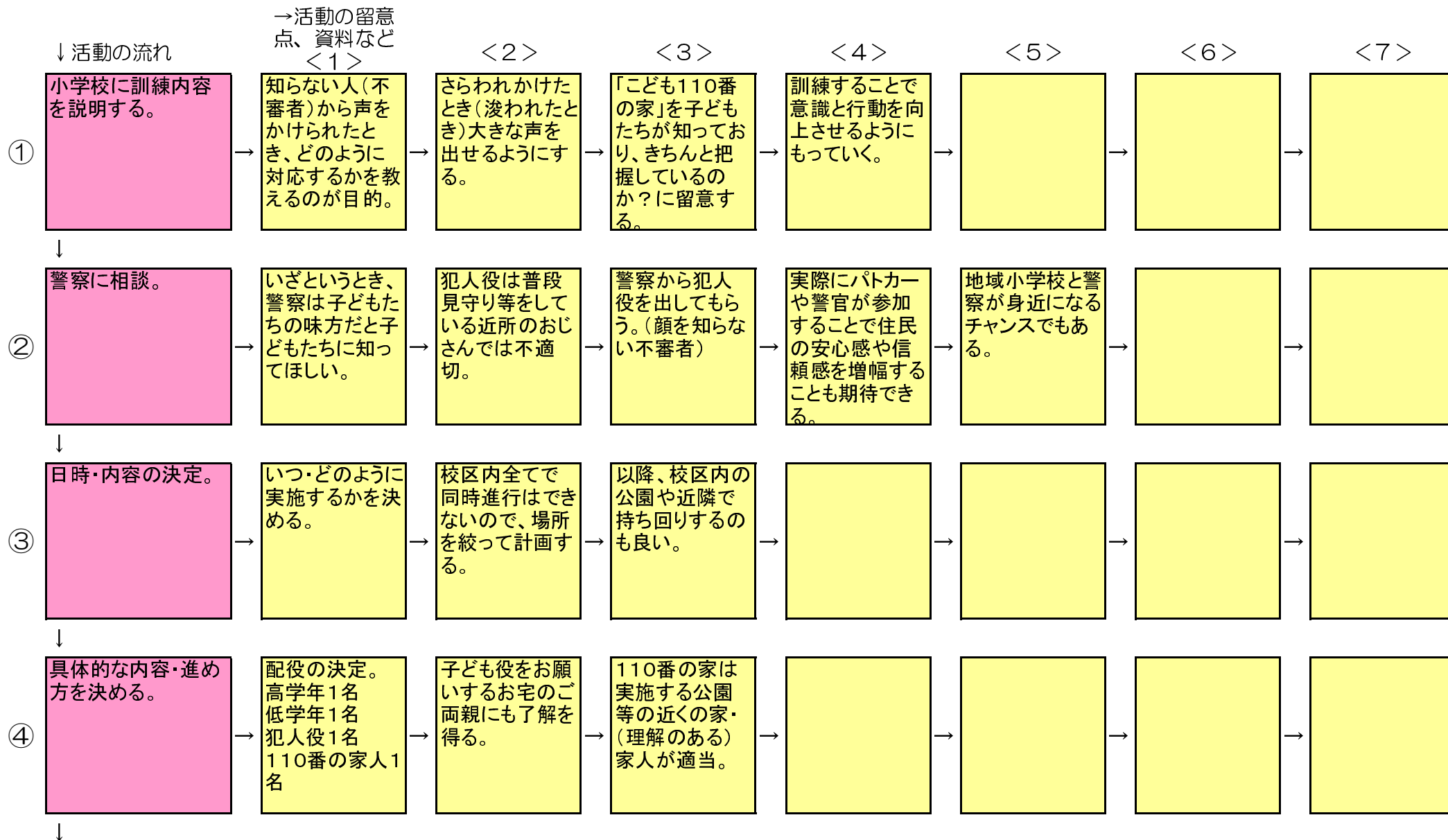
⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数）

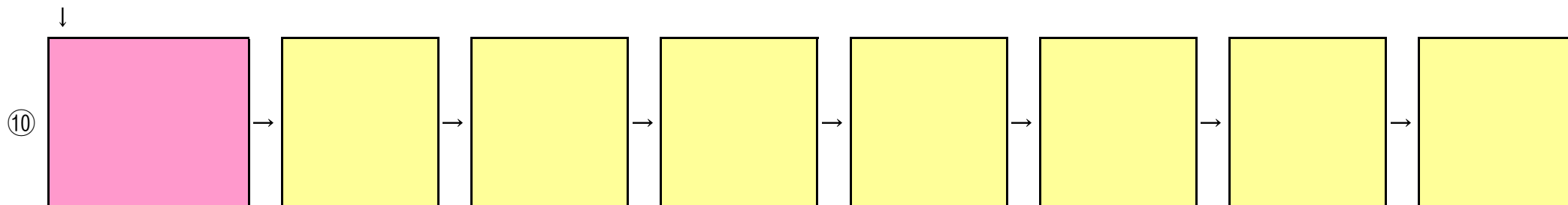
実演者2名、犯人役1名、子ども110番の家在宅者1名

⑩ 必要経費
（所要額、財源）

不要

■活動の流れ





■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

校区で実施とはいえ、あまりに人数が多すぎると見学できなかつたり、真剣さに欠けるので、見学者50-60名くらいまでが妥当。人数が多くなるようであれば、場所・日時等をわけて行うなどの工夫をした方がより効果的。本当に知らない人(警官など)に声をかけられることで、子どもが危機感を持つようになる。

②その他の評価

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

学校・地域・警察の根回しのため、平生からの「おつきあい」が大切。それができていれば何事もスムーズに事が運ぶ。

②参考資料等

きっかけは、「地域の公園等で子どもたちが安心して遊べればよい」という思い。普段から防犯灯の球切れに気を配り、公園まわりの植樹が高すぎたり茂りすぎたりしていれば行政に声をかけ、公園内の安全を少しでも向上させることができれば…。→また、「子ども110番の家」が風化し、子どもたちにきちんと理解されていない(根付いていない)のではないかとの危惧もあった。

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 高塚台2丁目自治会

■基礎データ

① タイトル

児童下校見守り(リレー方式による見守り)

② 活動の概要

高齢化しつつある見守り隊の負担を少なくしつつ、効率良く子どもたちを見守る。

③ 目標・ねらい

下校する児童を少しでも安心して安全に帰宅できるよう見守ること。

④ 活動で上げることが
できる力・能力

当地域は坂道ばかりの(結構急な坂道が多い)ため、高齢化しつつあるパトロール隊の移動距離を少しでも減らし、少人数でも効率よく児童の下校を見守ることができ、持ち場間の隊員同士の交流も深まる。

⑤ 対象者(受ける側)

地域の小学生

⑥ 活動・作業形態

児童通学路における見守り活動をリレー形式で行う。
既存のワンワンパトロール隊と協力し、散歩の時間を下校時に合わせる。

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

グリーン帽、グリーンジャンパー、防犯ベスト、旗(交通安全用)など

⑧ 所要時間

児童下校時の約30分
下校時間帯 A.12:00 B.13:00 C.14:15 D.15:00 E.16:00

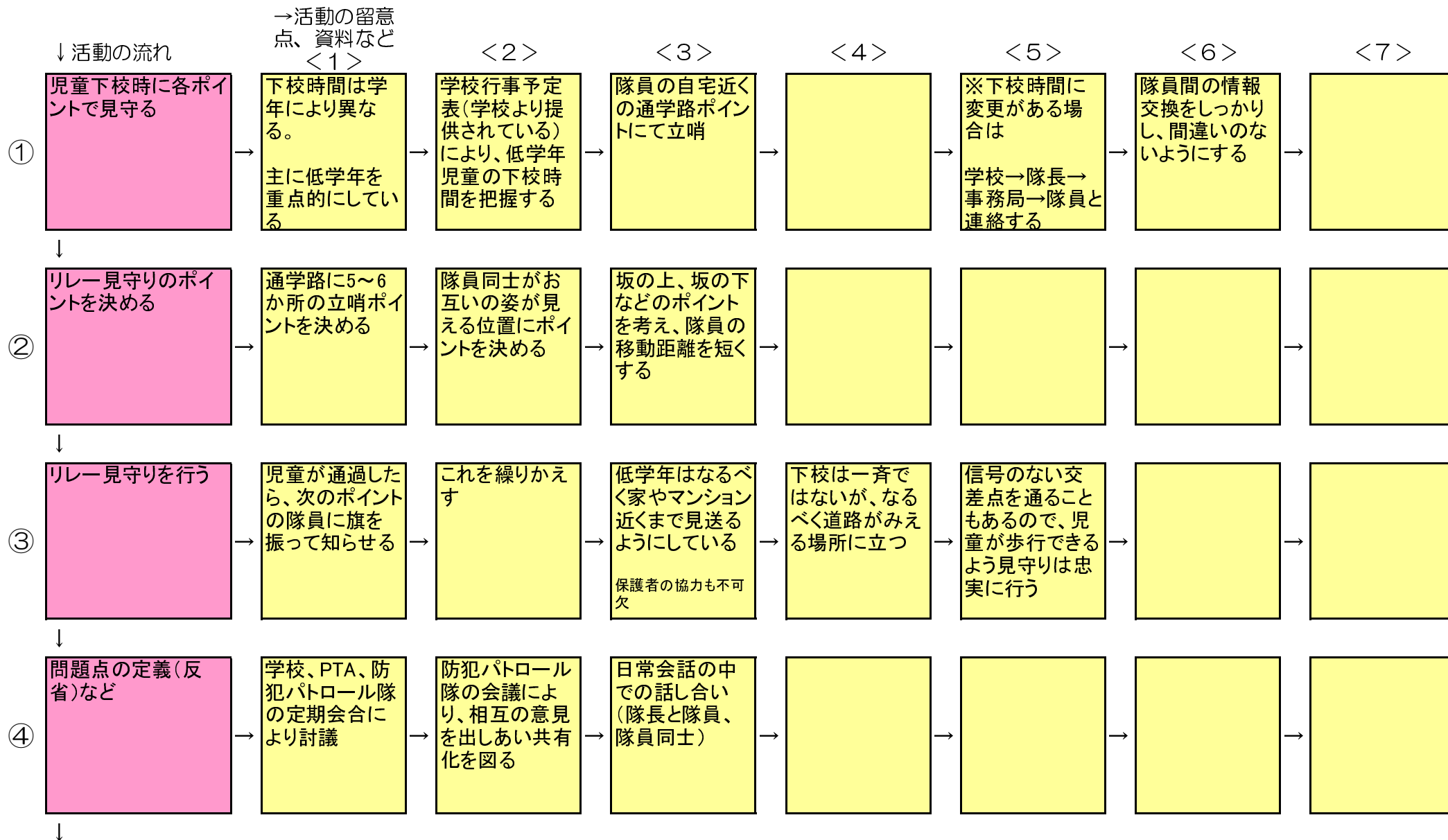
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

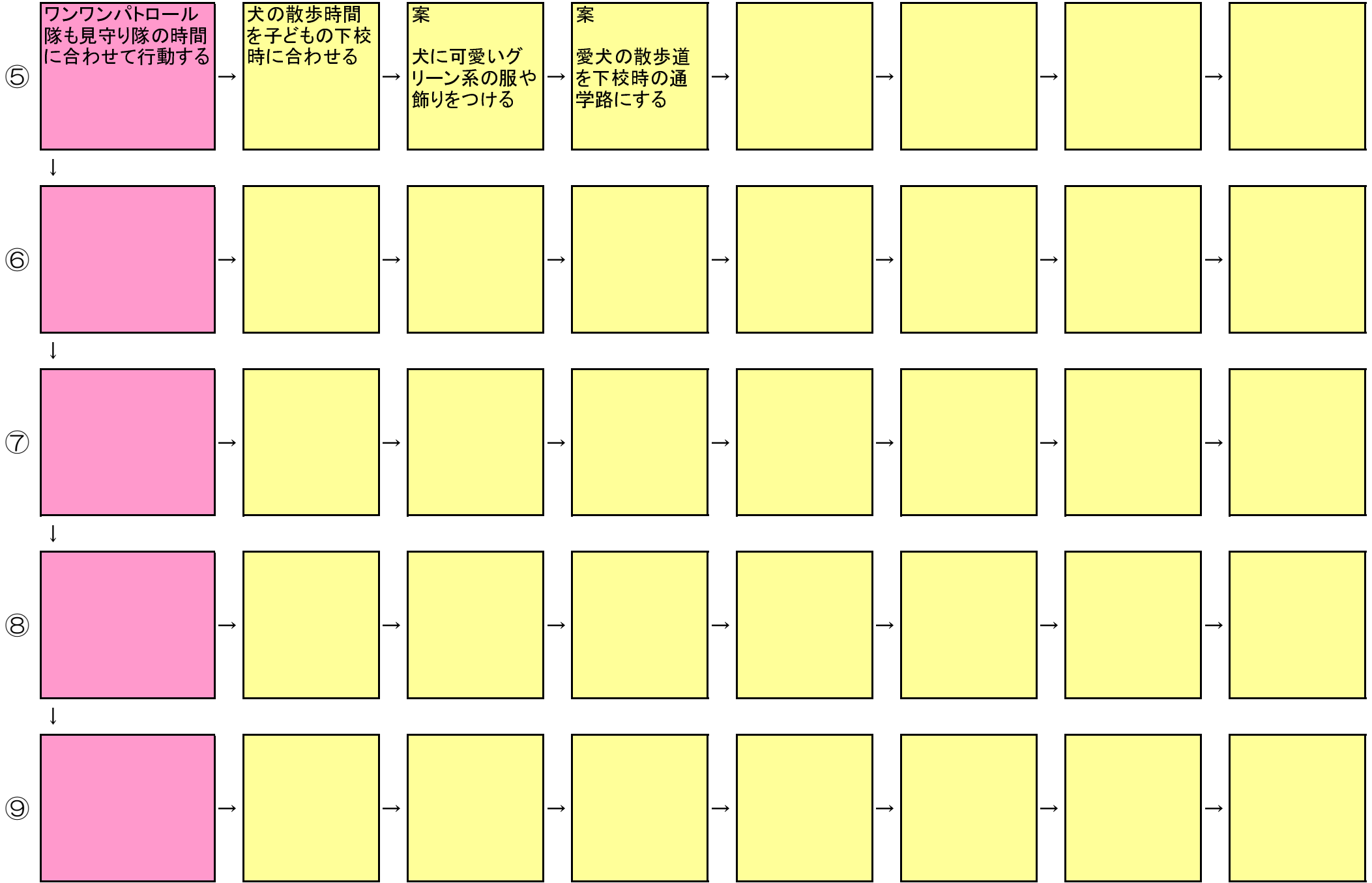
地区の広さによる
責任感があり子ども好きで思いやり深い方。奉仕精神が旺盛な方大歓迎!

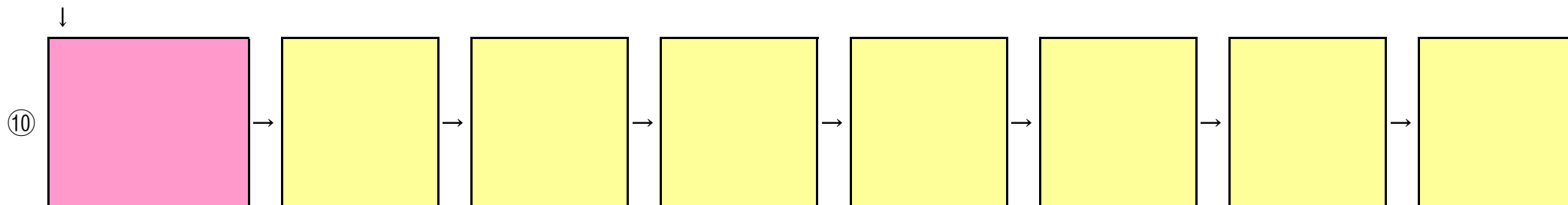
⑩ 必要経費
(所要額、財源)

不要

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

朝の見守り活動は4部団8～12名に対し、下校時の見守りは5～6名と減少する。原因が家庭の雑用や所用などと重なる時間であるからか？また、午後の散歩は4時(16時)以降が多く、時間がかみ合わないのも原因。こうした理由により、少人数となった見守り隊員でもこの方法を用いれば、効率良く活動できている。

②その他の評価

足腰が弱っている隊員なども負担が少なく、活動に参加しやすい。また、参加している仲間にも喜ばれている形態である。やはり、坂道の登り降りは体力的にキツイ場合があるので、無理して長距離を移動するよりも効率が良い。

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

無理のない範囲で自宅近くにある立哨ポイントに立ち、参加すること・子どもたちとのあいさつやふれあいを楽しむ。

②参考資料等

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 高塚台2丁目自治会

■基礎データ

① タイトル

学校支援ボランティア

② 活動の概要

学校支援ボランティア隊員による特技及び能力に応じた学校支援

③ 目標・ねらい

学校の美化・整備を行い、環境の良い場で児童に授業を受けさせると共にボランティア活動の素晴らしさを伝える(知ってもらう)
＝地域の模範となる学校でありたい

④ 活動で上げることが
できる力・能力

地域の学校支援を目的として、河合第3小学校の環境整備と教員の負荷(雑用)軽減及び児童の情操力の向上
地域住民との交流、次世代リーダー育成

⑤ 対象者(受ける側)

地域の全児童、保護者及び教員

⑥ 活動・作業形態

校内の園芸・除草・樹木の剪定・学習の指導補助・プールの監視・設備のメンテナンス(できる範囲のこと)

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

各人の技術に応じた道具で支援ボランティア所有の工具と学校が保有する道具を活用

⑧ 所要時間

各月2～3回(ただし、夏期・冬期は別工程)／1日の工程:2～3時間、年間スケジュールによる

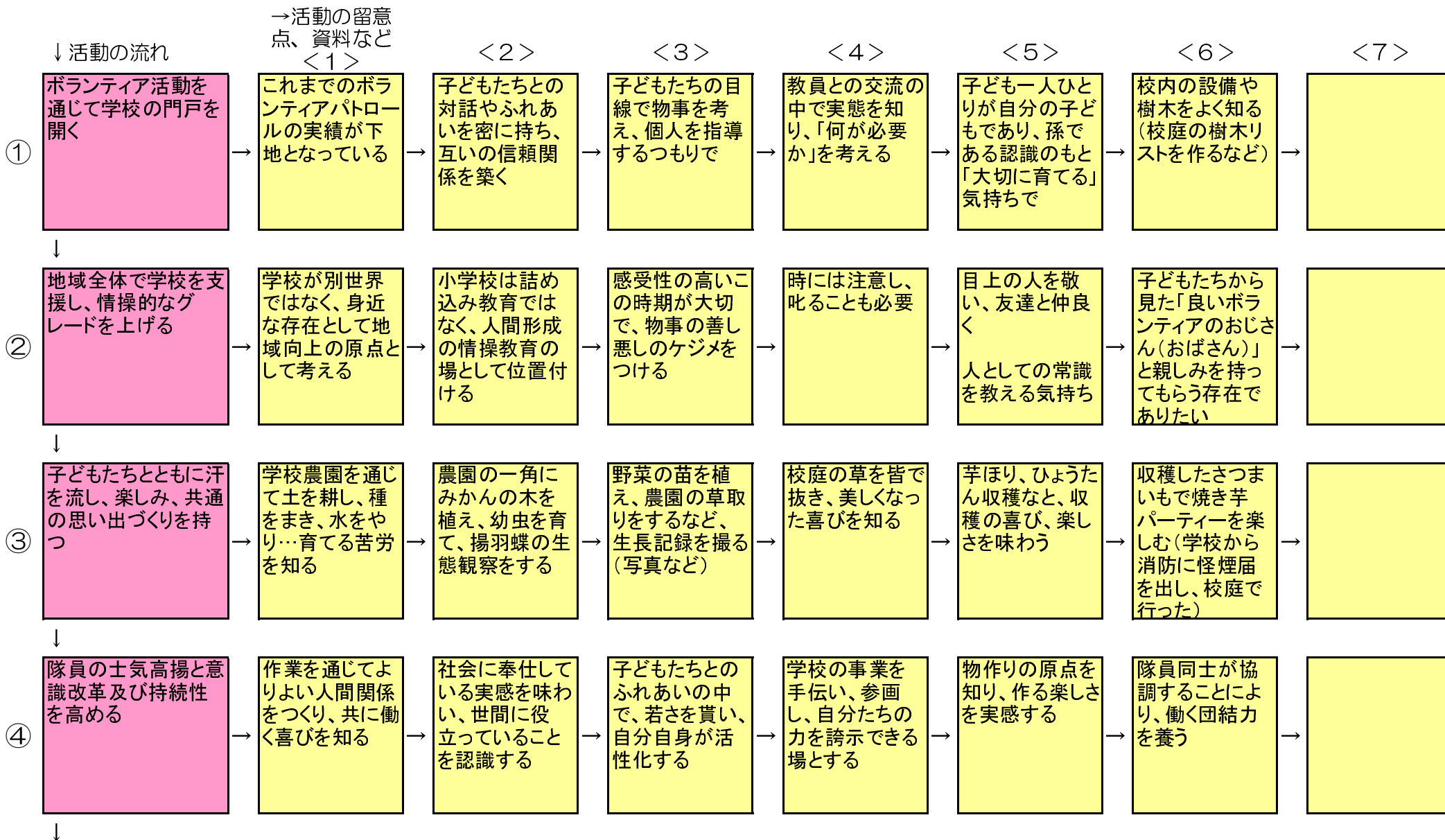
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

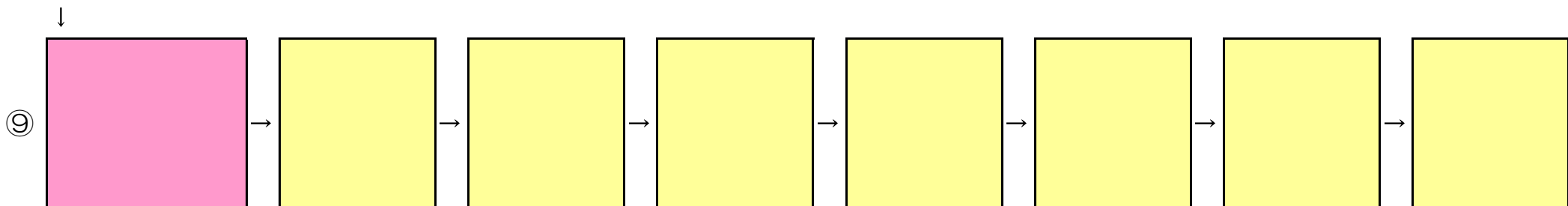
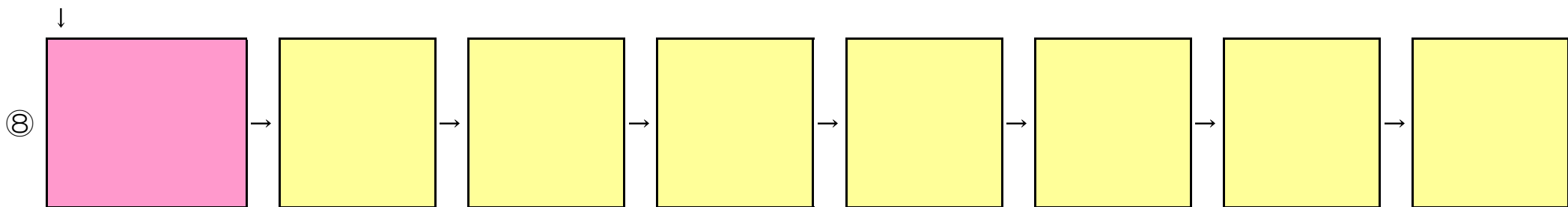
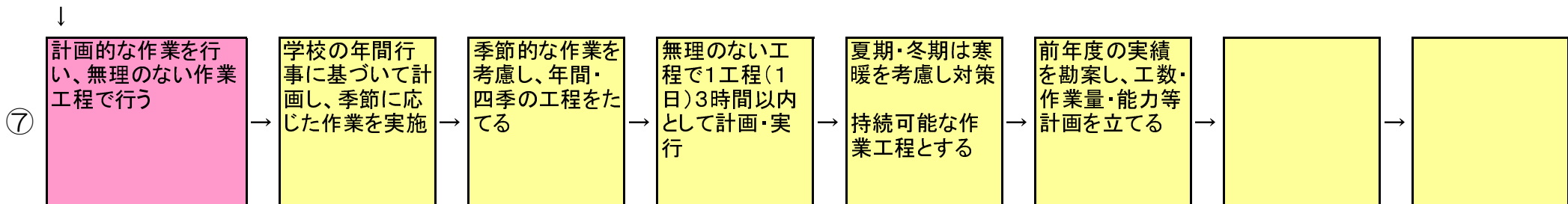
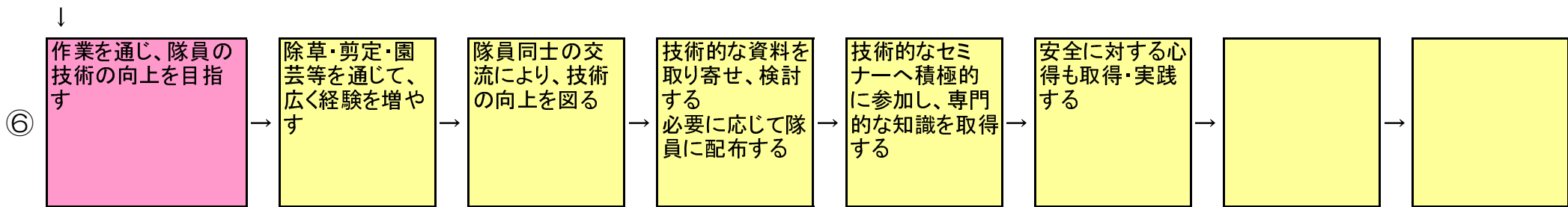
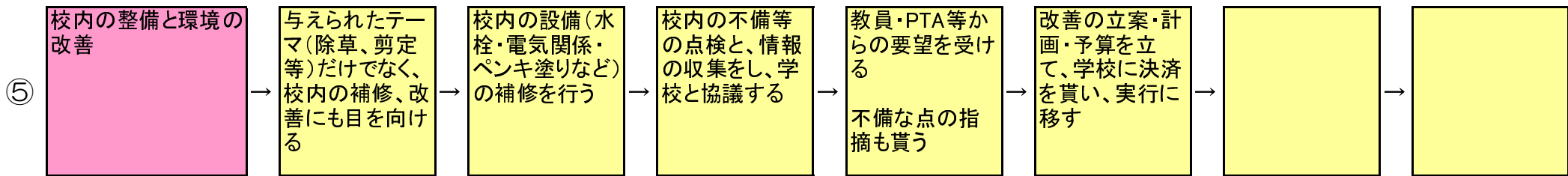
当該地区の学校では
除草14名、剪定5名、園芸4～5名、作業内容にPTAの応援を求めることもある

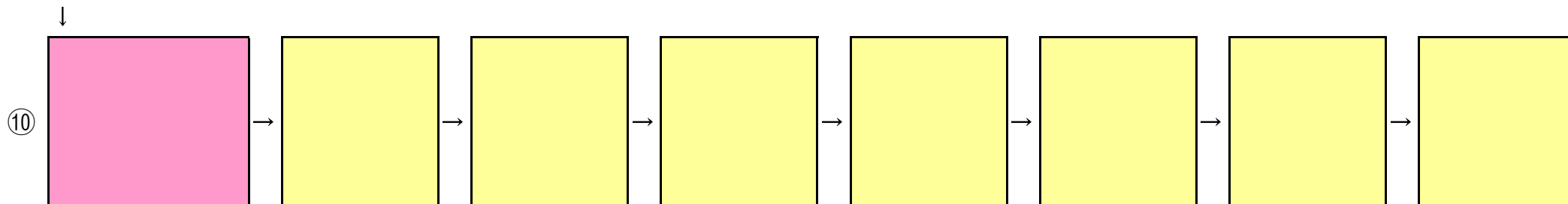
⑩ 必要経費
(所要額、財源)

工具・設備の修理(2300円)、消耗品(3000円)、苗・肥料(53500円) 本年(5～12月実績)合計79500円
計画予算を申請・学校で決済(公費負担)

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

発足(作業開始)して約半年であり、評価の目標数値等が設定されていないが、校内の美化等に著しい変化が見られる。対外的にも良い評価があった。隊員の参加率も高く、今後、一年を経過した時点で目標値を設定したい。

②その他の評価

子どもたちが我々ボランティアに対する尊敬の念が目に見えてわかるようになり、校内でのあいさつやありがとうの声が大きくなっている。隊員の作業に興味を示し、感謝の意を表すなど教師のボランティアへの取り組みが子どもたちにも顕れている。

■備考・その他(活動のコツなど)

①活動のコツなど

ボランティアパトロール隊として結成以来9年目となる実績と隊員同士の団結力、また、今日までの学校との信頼関係があってこそこの活動です。隊員が培ってきた貴重な特技や経験を活かした社会貢献となるよう、児童や教諭の力になることができればと地域の学校支援を目的として活動をしています。隊員に対して学校から定期的なお知らせを通じ、共通の行動とステップを周知し、共に歩んでいることを実感する。技術資料等の配布、セミナーへの参加等により魅力的なものとした。ボランティア活動は個人単独では達成できないが、皆でやれば大きなものも

②参考資料等

校内の樹木の配置、校舎の配置図、家庭でできる簡単な剪定、隊員の登録リスト、校内作業時の心得、作業案内と協力の呼びかけ、改善についての計画書(校内)

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等



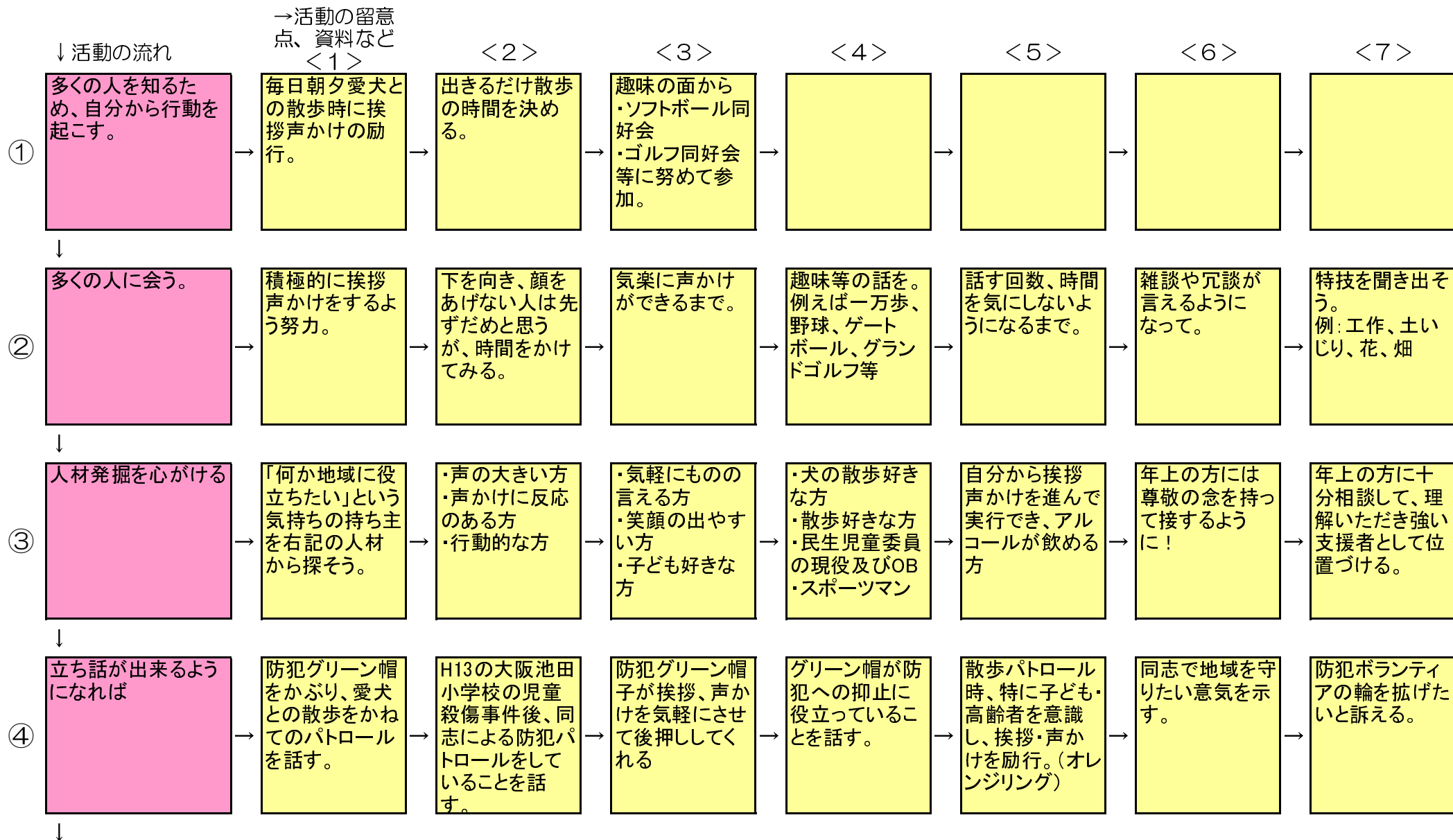
活動指導案

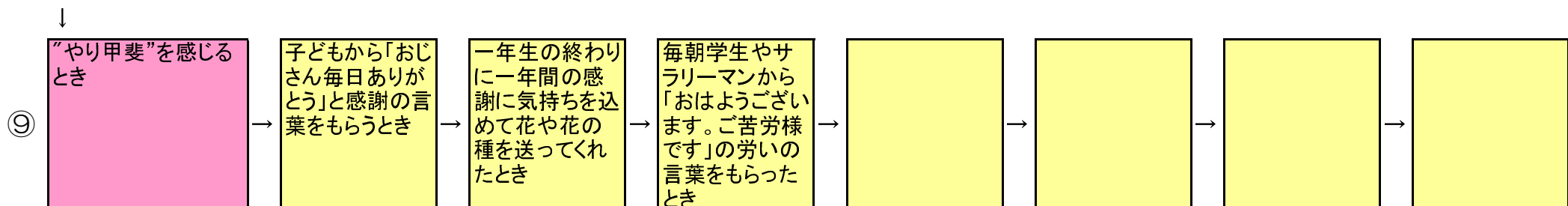
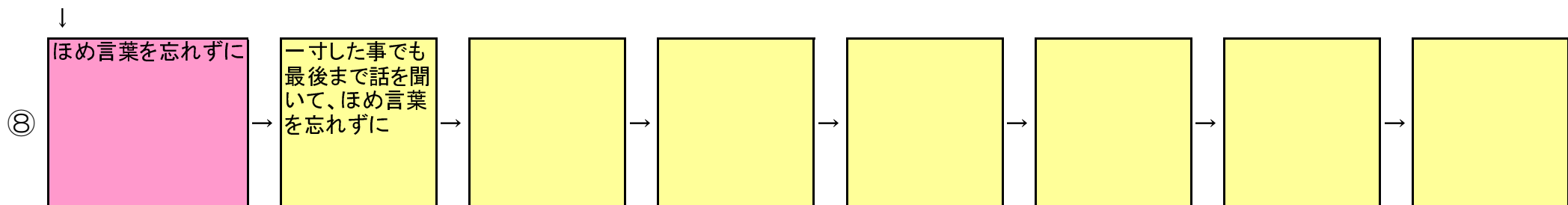
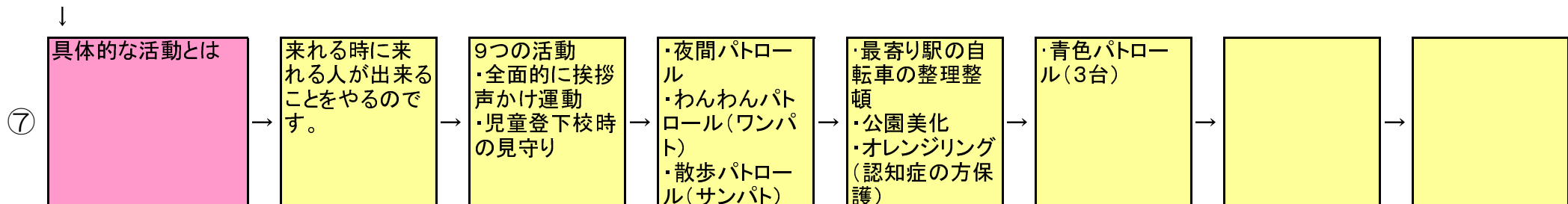
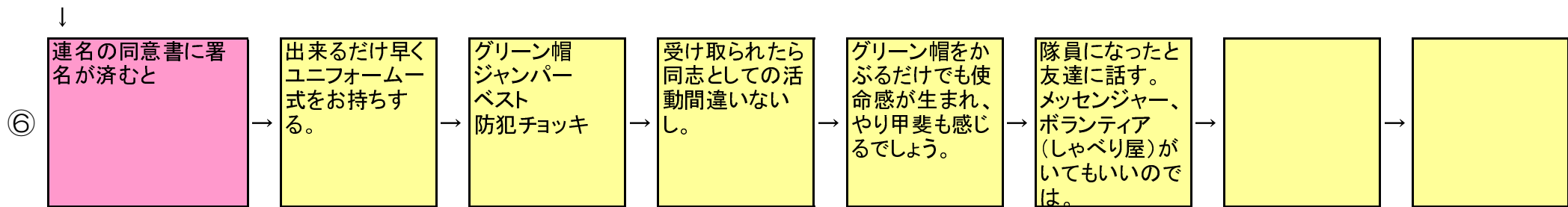
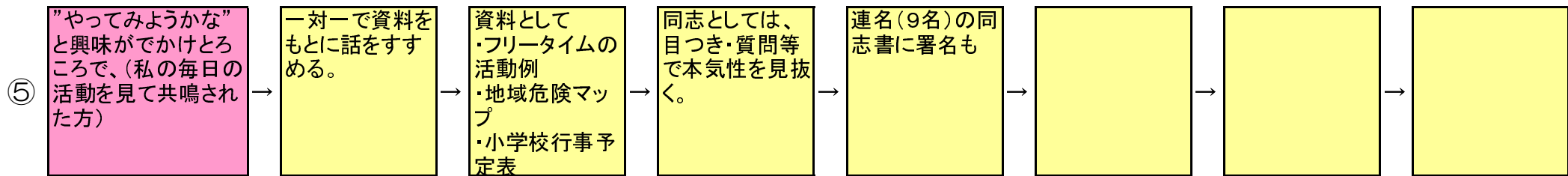
実践団体名 河合町高塚台2丁目自治会自主防災会・防犯パトロール隊

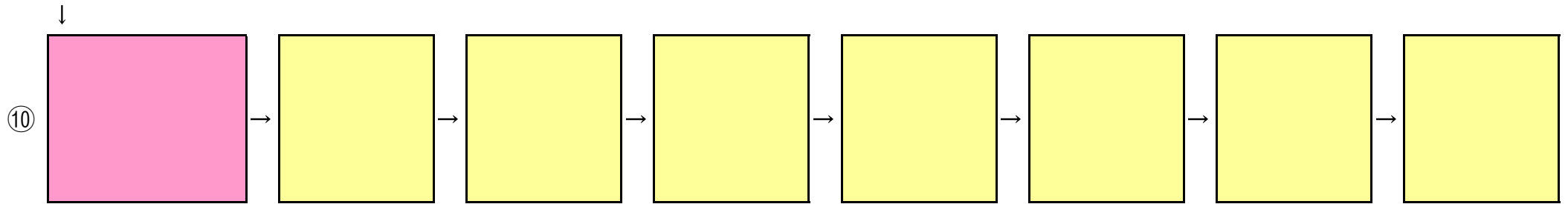
■基礎データ

- | | |
|---------------------------|---|
| ① タイトル | ゼロからの組織立ち上げ(人づくりの流れ) |
| ② 活動の概要 | 一人でもやり抜く覚悟で「地域のために役立ちたい」と朝夕愛犬(ラブ)との散歩時が始まり。 |
| ③ 目標・ねらい | 仲間づくりのための人材発掘の出会い作りを朝夕の犬との散歩時、ソフトボール同好会、ゴルフ同好会等で作る。 |
| ④ 活動で上げることが
できる力・能力 | 毎日できるだけ多くの人と親しくなるため、挨拶と声かけで人間関係を深めようと努力。 |
| ⑤ 対象者(受ける側) | 地域の自主活動にやり甲斐を感じそうな人をマークする。 |
| ⑥ 活動・作業形態 | 強制加入は避け、フリータイムに無理の無いように取り組み、来れるときに来れる人が出来ることを強調。 |
| ⑦ 準備するもの
(道具、材料等) | 一対一での説得資料 フリータイムの有効活用具体例 危険マップ 学校行事予定表 同意書(連名) グリーン帽などユニフォーム一式 |
| ⑧ 所要時間 | 人間関係づくりに充分時間をかけるので、各人毎に費やす時間は違う。”言っておいたから大丈夫だろう”ではだめ！！ |
| ⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数) | ”あの人にならついて行く”と云った日頃の活動の姿が説得力。率先行動力、気配り、包容力がリーダーシップ発揮に不可欠。 |
| ⑩ 必要経費
(所要額、財源) | 財源稼ぎにアルミ缶収集の協力乞う。自治会の協力大。一人分一式約5,000円(グリーン帽1000、ベスト1000、ジャンパー1000、防犯チョッキ2000) |

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

地域のために毎日できることをしばらく(2~3年)黙々とするような活動が一番効果があった。

②その他の評価

継続することから組織の芽が生まれると信じる。

■備考・その他(活動のコツなど)

①活動のコツなど

何事も自分からやってみることから始め、次に理解ある分身(後継者)を造り、手足になってもらうことができればさらに良い。総体的に目・耳を使って周りをしっかり把握し、できるだけ些細なことまでの気配りが大切。

②参考資料等

60年以上の人生経験から人間の関係づくりが一番の生きた参考資料です。

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 河合町高塚台2丁目自治会自主防災会・防犯パトロール隊

■基礎データ

① タイトル

ボランティア・パトロールリーダーとは

② 活動の概要

地域の安心・安全への旗揚げ

③ 目標・ねらい

組織の立ち上げと共にリーダーの存続

④ 活動で上げることが
できる力・能力

継続は力なり

⑤ 対象者（受ける側）

信頼関係

⑥ 活動・作業形態

有言実行

⑦ 準備するもの
（道具、材料等）

責任感

⑧ 所要時間

無限

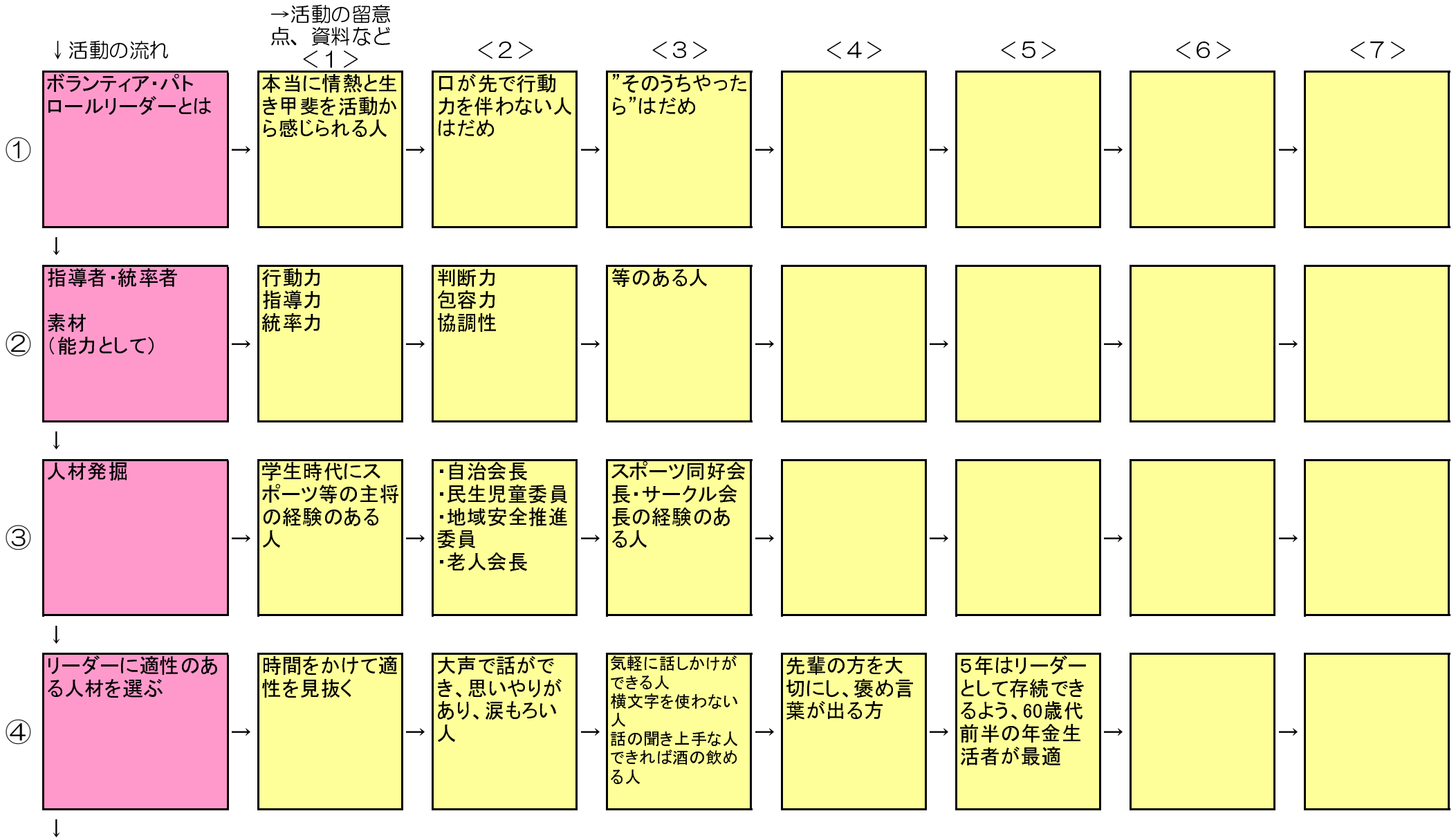
⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数）

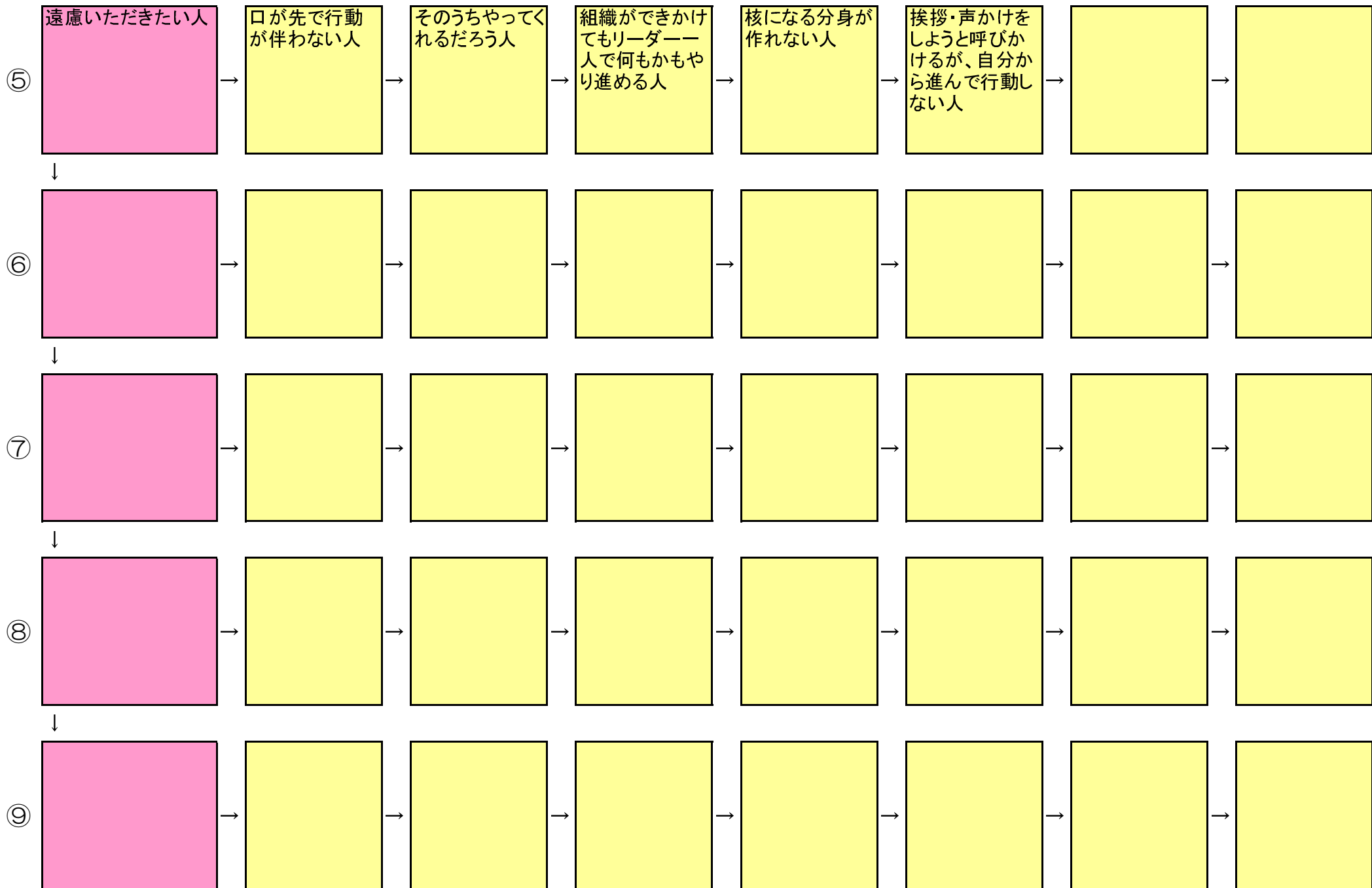
行動力、指導力、統率力（判断力、包容力、強調性等）

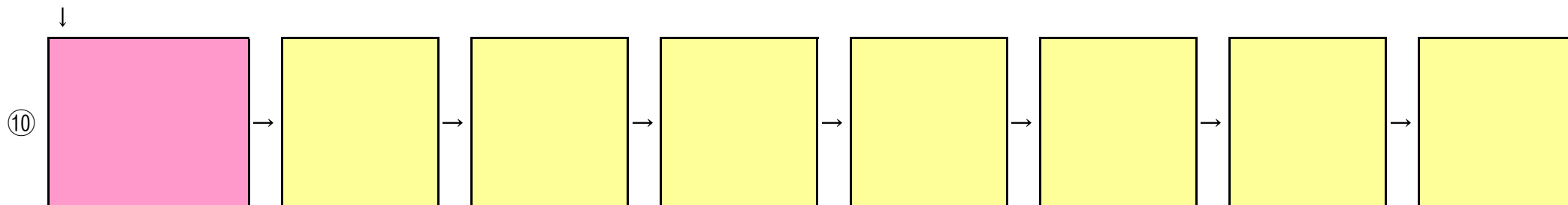
⑩ 必要経費
（所要額、財源）

金より汗

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

②その他の評価

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

②参考資料等

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等